


みんなの目標 SDGs

SDGs
世界をよりよく変えるための「持続可能な開発目標」。
国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す目標です。
「世界を変える!?!」なんて、自分には関係ないと感じるかもしれませんが。
でも、あなたのほんの少しの意識と工夫で暮らしや働き方が変わり、
一人ひとりの行動が、世界を変える第一歩になるのです。
SDGsは政府が推進し、いま、自治体・企業・地域へと広がっています。

1 貧困をなくそう

みんなの目標：その1
「貧困をなくそう」
.....
あらゆる場所で、あらゆる形態の
貧困に終止符を打つ



2 000年の国連ミレニアム・サミットにおいて、途上国の課題解決に向けた21世紀の国際社会共通目標として「国連ミレニアム宣言」が採択され、2015年までに達成すべき8目標を掲げたMDGs（ミレニアム開発目標）が策定されました。そのうちのひとつとして「**極度の貧困と飢餓の撲滅**」が掲げられ、**極度の貧困状態に置かれている人数を、約19億人から8.4億人へと減少させる成果を上げました。**現在、その目標がSDGsへと引き継がれ、「**あらゆる形態の貧困に終止符を打つこと**」にすべての国が取り組んでいます。

し かし、開発途上地域では10人に1人が国際貧困ライン※1で暮らし、世界の最も豊かな国々においても3000万人の子どもが貧困状態にあるとされています。また、日本においても子どもの貧困率が14%と約7人に1人が相対的貧困※2とのデータがあります。（OECD※3所得定義による）

- ※1 衣食住にかかる費用が、一人当たり1日1ドル90セント（約210円）未満の層（世界銀行の設定基準）
- ※2 地域水準と比較して、大多数よりも貧しい状況
- ※3 経済協力開発機構。先進国38カ国が加盟

参考：国際連合広報センター HP / 外務省 HP / 厚生労働省 HP

【私たちが日常でできること】

◆貧困問題を考えよう！

貧困がもたらす課題、自分たちに何ができるか、話しあう機会を持ちましょう！課題解決にむけて取り組むボランティアも。

【小諸市ができること】（第11次基本計画より）

◆経済・雇用状況の変化や、家族構成、心身の障がいまたは健康状態等により生活困窮の状況にある方に対して、福祉・医療・住居・就労等に関するサービス体制の連携により、貧困状態から脱する支援を実施します。（主管課：厚生課）

☎ 企画課 行政経営係



イラスト・九間ハート